

## J-SLA ニュース・レター 2016 年 11 号

キャンパスや通りの街路樹も鮮やかな赤や黄色に色づいた葉を落とし始め、本格的な冬に向かっている今日この頃です。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今月のニュース・レターでは、報告が 3 点とお知らせが 1 点ございます。

### 報告(1)：『PacSLRF2016』無事終了

環太平洋第二言語研究フォーラム (Pacific Second Language Research Forum: PacSLRF) 2016 が、日本第二言語習得学会 (Japan Second Language Association: J-SLA) の第 16 回年次大会との共催 (中央大学後援) により、2016 年 9 月 9 から 11 日まで中央大学多摩キャンパス (東京) で開催されました。日本国内のみならず海外からの研究発表もあり、合計で 331 名の方が参加されました。

SLA 分野で著名な以下の 4 名の方に基調講演をしていただきました。

Prof. Alan Juffs (University of Pittsburgh, USA)

Prof. Makiko Hirakawa (Chuo University, Japan)

Prof. Ianthi Maria Tsimpli (University of Cambridge, UK)

Prof. Michael Harrington (Queensland University, Australia)

学生ワークショップ、シンポジウム、口頭発表、ポスター発表が行われ、様々な視点からの研究に触れることで、SLA の知見を深めることができる、有意義な 3 日間でした。9 日には中央大学学長主催のレセプション、10 日には学会ディナーが催され、参加者同士が親睦を深める機会となりました。

### 報告(2)：2016 年度第 2 回総会

PacSLRF 2016 にて第 2 回総会が開催され、以下の 2 点が審議、承認されました。

#### 議題 1:2015 年度決算および監査報告

##### (1) 決算の報告

狩野暁洋会計より資料をもとに説明がありました。また、2016 年度第 1 回総会で監査委員から指摘された件に関し、会計が改めて精査し、訂正した\*旨、報告がありました。

\*2015 年度決算、収入の部、不明金 67,709 円を 7,709 円に訂正。

##### (2) 2015 年度の決算監査報告

隈上麻衣監査委員より、決算を適正に表示しているとの報告がありました。

#### 議題 2：2017 年度行事予定について

##### (1) 2017 年度年次大会

日程：6 月 3 日・4 日

場所：静岡文化芸術大学静岡文化芸術大学

招待講演者：Holger Hopp 氏

(2) 2017 年度「秋の研修会」

日程： 2017 年 10 月 29 日(日)

場所：首都大学東京

講演者：未定 (決定次第、J-SLA ホームページに掲載します)

**報告(3)：Second Language 進捗状況**

Vol.15 は 10 月初旬に印刷を終え、郵送の手配も終わりました。次号の締め切りは 12 月末です。皆様の投稿をお待ちしております。

**お知らせ：PacSLRF 2016 論文集投稿募集**

PacSLRF2016 の開催を記念して、『環太平洋第二言語研究フォーラム 2016 論文集』(Proceedings of Pacific Second Language Research Forum 2016) を発行する予定です。口頭発表（コロキウムでの発表を含む）で採択された研究の論文を採用します。SLA 研究の最先端で、領域の未来を拓く研究満載の論文集にしたいと考えておりますので、奮ってのご投稿をお待ちしております。なお、スタイルシート、投稿締め切りなど出版についての詳細は、以下をご参照ください。

英語のホームページ：<http://www.j-sla.org/pacslrf/proceedings/>

日本語のホームページ：<http://www.j-sla.org/pacslrf/jp/proceedings/>

文責：J-SLA 事務局 柴田美紀 ([shibatam@hiroshima-u.ac.jp](mailto:shibatam@hiroshima-u.ac.jp))